

もっと知って欲しい、

里親制度のこと vol.4

R2.10



うちの子が来てくれた時ってね・・・～ある里母さんのお話し～

初めて児童相談所から、子どもの委託打診があったとき、もうすぐ2歳の男の子、と聞き、「ついに来た！」と心臓がバクバクでした。思ったより早く打診があって驚いたけど、嬉しかったです。

委託の前は、研修などで聞いていた「試し行動」が不安でした。うちの子の場合は、「パパじゃなきゃイヤ！」という形で表れました。何をしても「パパ、パパ」と言って、ママがお世話をしようとする「イヤ！」。ごはん、歯みがき、オムツ替え、車から降りる時も、全て「パパ」です。パパが仕事から帰るまで、オムツも替えさせてくれず、オムツからおしっこが漏れても絶対に嫌だ、と言う日が続きます。ずっとお世話をしているのはママなのに、とても悲しく苦しかったです。毎晩、時には泣きながら、夫婦で話し合いました。「今はそういう時期だから頑張っ乗り越えよう」と。そんな時、子どもが元いた乳児院



の職員さんが、とても丁寧に話を聞いてくれました。「〇〇君との根くらべ作戦だね」と言い、職員さんのアドバイスで、「おむつ、替えたら気持ちいいよ、替えさせて欲しいな～」と声をかけながらも、決して無理強いはしませんでした。そうしたら、数日後、「オムツ替えさせて欲しいな」という声かけに、なんと、「いいよ！」と返事が返ってきたのです。その時の子どもの顔は嬉しそうにニコニコしていました。その日から、少しずつお世話を受け入れてくれるようになりました。委託から数か月、今では、すっかりママっ子で、逆に、ママじゃないとイヤ！と言っています。

毎日そばにいてくれる人、大切な人にこそ、「試し行動」は向くように思います。例え何をしても、ママはぼくのことを大切にしてくれる、と伝わったから、ニコニコの笑顔が出たのでしょうか、と思います。



里親になろうか、迷っている方へ

子どもが、昨日できなかった事を、今日、できるようになるのを見るのは喜びです。「ありがとう」「ごめんね」と言ってくれるのがかわいくて。すっかり子ども中心になった我が家です！大変なこともあるけれど、それ以上に楽しいことや喜びがあるので、もし迷っているなら、頑張っやってみたら良いんじゃないかな、と思います。



子どもの幸せのための里親制度

里親さんを待っている子どもがいます。

お問い合わせ

相模原市児童相談所 042-730-3500